



Sun Blade™ 6000 モジュラーシステム ご使用にあたって

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

部品番号 820-2073-10
2007年7月、改訂A

本書についてのご意見・ご感想は、<http://www.sun.com/hwdocs/feedback> のフォームを使って弊社までお送りください。

Copyright 2006-2007 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以降、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記載されている技術に関連する知的所有権を所有しています。特に、これに限定されず、これらの知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されている1つまたは複数の米国特許、米国ならびに他の国における1つまたは複数の特許または申請中の特許が含まれます。およびその他の国における商標または登録商標です。

本書および本製品は、その使用、複製、再頒布および逆コンパイルを制限するライセンスに基づいて頒布されます。米国 Sun Microsystems 社またはそのライセンス許諾者の書面による事前の許可なくして、本書または製品のいかなる部分もいかなる手段および形式によっても複製することを禁じます。

本製品に含まれるサードパーティソフトウェア (フォントに関するテクノロジーを含む) は、著作権を有する当該各社より米国 Sun Microsystems 社へライセンス供与されているものです。

本製品の一部は、Berkeley BSD systems に由来し、University of California からライセンスを受けています。UNIX は、X/Open Company, Ltd. の米国ならびに他の国における登録商標で、X/Open Company, Ltd. が所有する独占的ライセンス供与権に基づいて、米国 Sun Microsystems 社にライセンス供与されています。

Sun, Sun Microsystems, Sun のロゴマーク、Java, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun Blade, Solaris は、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

SPARC の商標はすべて、ライセンス契約に基づいて使用されており、SPARC International, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標の付いた製品には、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーが採用されています。

AMD Opteron は Advanced Microdevices, Inc. の商標または登録商標です。

OPEN LOOK および Sun™ グラフィカルユーザーインターフェースは、米国 Sun Microsystems 社がユーザーおよびライセンス被許諾者のために開発したものです。米国 Sun Microsystems 社は、ビジュアルまたはグラフィカルユーザーインターフェースの概念を先駆的に研究、開発し、コンピュータ業界に貢献した Xerox 社の努力を高く評価いたします。米国 Sun Microsystems 社は、Xerox グラフィカルユーザーインターフェースに対する非独占的ライセンスを Xerox 社から受けています。このライセンスは、OPEN LOOK GUI を採用する米国 Sun Microsystems 社のライセンス被許諾者に対しても適用されます。また適用されない場合でも、それらライセンス被許諾者は米国 Sun Microsystems 社のライセンス契約文書に遵守することとなります。

米国政府の権利 - 商用。政府関連のユーザーは、米国 Sun Microsystems 社の標準ライセンス契約、および FAR とその補足条項に従う必要があります。

本書は、「現状のまま」の形で提供され、法律により免責が認められない場合を除き、商品性、特定目的への適合性、第三者の権利の非侵害に関する暗黙の保証を含む、いかなる明示的および暗示的な保証も伴わないものとします。

Copyright 2006-2007 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, Californie 95054, Etats-Unis. Tous droits réservés.

Sun Microsystems, Inc. a les droits de propriété intellectuelle relatants à la technologie qui est décrit dans ce document. En particulier, et sans la limitation, ces droits de propriété intellectuelle peuvent inclure un ou plus des brevets américains énumérés à <http://www.sun.com/patents> et un ou les brevets plus supplémentaires ou les applications de brevet en attente dans les Etats-Unis et dans les autres pays.

Ce produit ou document est protégé par un copyright et distribué avec des licences qui en restreignent l'utilisation, la copie, la distribution, et la décompilation. Aucune partie de ce produit ou document ne peut être reproduite sous aucune forme, par quelque moyen que ce soit, sans l'autorisation préalable et écrite de Sun et de ses bailleurs de licence, s'il y en a.

Le logiciel détenu par des tiers, et qui comprend la technologie relative aux polices de caractères, est protégé par un copyright et licencié par des fournisseurs de Sun.

Des parties de ce produit pourront être dérivées des systèmes Berkeley BSD licenciés par l'Université de Californie. UNIX est une marque déposée aux Etats-Unis et dans d'autres pays et licenciée exclusivement par X/Open Company, Ltd.

Sun, Sun Microsystems, le logo Sun, Java, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun Blade, et Solaris sont des marques de fabrique ou des marques déposées de Sun Microsystems, Inc. aux Etats-Unis et dans d'autres pays.

Toutes les marques SPARC sont utilisées sous licence et sont des marques de fabrique ou des marques déposées de SPARC International, Inc. aux Etats-Unis et dans d'autres pays. Les produits portant les marques SPARC sont basés sur une architecture développée par Sun Microsystems, Inc.

AMD Opteron est une marque de fabrique ou une marque déposée de Advanced Microdevices, Inc.

L'interface d'utilisation graphique OPEN LOOK et Sun™ a été développée par Sun Microsystems, Inc. pour ses utilisateurs et licenciés. Sun reconnaît les efforts de pionniers de Xerox pour la recherche et le développement du concept des interfaces d'utilisation visuelle ou graphique pour l'industrie de l'informatique. Sun détient une licence non exclusive de Xerox sur l'interface d'utilisation graphique Xerox, cette licence couvrant également les licenciées de Sun qui mettent en place l'interface d'utilisation graphique OPEN LOOK et qui en outre se conforment aux licences écrites de Sun.

LA DOCUMENTATION EST FOURNIE "EN L'ÉTAT" ET TOUTES AUTRES CONDITIONS, DECLARATIONS ET GARANTIES EXPRESSES OU TACITES SONT FORMELLEMENT EXCLUES, DANS LA MESURE AUTORISÉE PAR LA LOI APPLICABLE, Y COMPRIS NOTAMMENT TOUTE GARANTIE IMPLICITE RELATIVE A LA QUALITE MARCHANDE, A L'APTITUDE A UNE UTILISATION PARTICULIERE OU A L'ABSENCE DE CONTREFAÇON.



リサイクル
してください



Adobe PostScript

目次

はじめに v

重要な注意事項 1

ハードウェアの注意事項 3

空のスロットにはフィラーが必要 3

ソフトウェアの注意事項 5

サービスプロセッサの注意事項 7

SP がブートするまで電源 LED がオンにならない (6464862) 7

ブート中に、CMM の OK LED がオフになる
(6474460) 7

ILOM サービスプロセッサ (SP) のロックアップが発生する (6471005) 7

/CH/BLn/SP/cli/ ユーザーコマンドが、無効な値を受け入れる
(6497752) 8

CMM ギガビット Ethernet ポートを 2 つ接続すると、ネットワーク速度が低下する (6498417) 8

ブレードの 12V の表示が現在の測定値でない
(6515649) 8

ILOM CMM SP が、現在の状態を表示しない
(6516108) 9

BMC が応答しなくなり、CPLD のバージョンが 0.0 と表示される
(6517737) 9

- CMM NET MGT 1 ポート 1 が無効 (6521145) 9
- ファンのしきい値が、CMM およびブレードで確認できない (6513836) 10
- ファンを取り外すと、CMM SEL に発動とアサート停止のイベントが記録される (6514930) 10
- 電源コードのプラグが取り外されているとき、PSU I+12V センサーの値が、0 ではなく 2.5 A と表示される (6516034) 10
- Startcli が、LDAP ユーザーと RADIUS ユーザーを認証しない (6526825) 11
- CMM が、ブレードの SP を変更または検出しない (6531753) 11
- SP で 1 つの CLI セッションしか開始できない (6540550) 12
- 電源がオフのときに、シャーシに電源オンと表示される (6531040) 12
- PSU が取り外されたときに、異なるステータスの値が報告される (6530748) 12

ドキュメントの注意事項 13

- 一部のドキュメントで電源モジュールの定格値に誤りがある 13

はじめに

本書では、Sun Blade™ 6000 モジュラーシステムのハードウェア、ソフトウェア、およびドキュメントの注意事項を説明します。

ここでは、前提条件、ヒント、トラブルシューティングのヒント、変更リクエストなど、ユーザーが知っておく必要のある情報が記載されています。変更リクエストには追跡番号があります（括弧内に表示）。

製品のアップデート

ダウンロードできる Sun Blade™ 6000 モジュラーシステムのアップデートについては、次の URL にアクセスし、本製品に関するページに移動してください。

<http://www.sun.com/servers/blades/6000>

このサイトから、ファームウェアとドライバのアップデート、および CD-ROM .iso イメージをダウンロードできます。

注 – Windows インストール用ドライバを入手するには、製品メインページの左側にある「Resources (リソース)」セクションの「Drivers for Windows OS (Windows OS 用ドライバ)」リンクをクリックします。これらのドライバは、Windows オペレーティングシステムインストールガイドの手順に従ってインストールする際、必要に応じて使用します。

関連ドキュメント

Sun Blade 6000 モジュラーシステムのドキュメントセットについては、次の URL を参照してください。

<http://www.sun.com/documentation>

これらのドキュメントの一部については、上記に記載された Web サイトでフランス語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語、日本語の翻訳版が入手可能です。英語版は頻繁に改訂されており、翻訳版よりも新しい情報が記載されています。

Sun ハードウェアのすべてのドキュメントについては、次の URL を参照してください。

<http://www.sun.com/documentation>

Solaris および他のソフトウェアのマニュアルについては、次の Web サイトを参照してください。

<http://docs.sun.com>

UNIX コマンドの使い方

本書には、基本的な UNIX[®] コマンドや、システムのシャットダウンや起動、デバイスの設定などの手順に関する情報は含まれていないことがあります。このような情報については、次のドキュメントを参照してください。

- システム付属ソフトウェアのドキュメント
- 次の場所にある Solaris[™] オペレーティングシステムのドキュメント

<http://docs.sun.com>

表記上の規則

字体*	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、および画面上のコンピュータ出力を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。 % You have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力とは区別して示します。	% su Password:
AaBbCc123	書名、新しい用語、強調する語句、および変数を示します。変数の場合には、実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	『User's Guide (ユーザーズガイド)』の第 6 章を参照してください。 これらはクラスオプションと呼ばれます。 これを行うには、スーパーユーザーである必要があります。 ファイルを削除するには、rm <ファイル名> と入力します。

* ご使用のブラウザの設定によっては、表示内容が多少異なる場合もあります。

サードパーティーの Web サイト

Sun 社は、本書で挙げているサードパーティーの Web サイトの利用について責任を負いません。また、当該サイトまたはリソースから入手可能なコンテンツや広告、製品またはその他の素材を推奨したり、責任あるいは法的義務を負うものではありません。さらに、他社の Web サイトやリソースに掲載されているコンテンツ、製品、サービスなどの使用や依存により生じた実際の、または嫌疑的な損害や損失についても責任を負いません。

コメントをお寄せください

Sun 社は、ドキュメントの改善を常に心がけており、皆様のコメントや提案を歓迎いたします。フィードバックは次のサイトから送信してください。

<http://feedbackprograms.sun.com>

フィードバックには、本書のタイトルと部品番号を記載してください。

『Sun Blade 6000 モジュラーシステムご使用にあたって』（部品番号 820-2073）

重要な注意事項

ここでは、Sun Blade 6000 モジュールシステムに関する重要な注意事項を説明します。
必ずこの章を読んでからサーバーを取り扱ってください。

現時点では、Sun Blade 6000 モジュールシステムに関する既知の重要な注意事項はありません。

ハードウェアの注意事項

この章では、Sun Blade 6000 モジュールシステムに関するハードウェアの注意事項を説明します。次の項目について説明します。

空のロットにはフィルターが必要

ロットが空のままシステムを動作させないでください。空のロットには必ずフィルターを挿入して、モジュールのシャットダウンを防止してください。

ソフトウェアの注意事項

この章では、Sun Blade 6000 モジュラーシステムに関する次のソフトウェアの注意事項を説明します。

現時点では、Sun Blade 6000 モジュラーシステムのソフトウェアに関する既知の注意事項はありません。

サービスプロセッサの注意事項

ここでは、Sun Integrated Lights Out Manager (ILOM) サービスプロセッサに関する次の注意事項を説明します。

SP がブートするまで電源 LED がオンにならない (6464862)

前面パネルの電源 LED がすぐにオンになりません。

対処方法

ILOM サービスプロセッサのブートアップシーケンスは約 1 分間かかります。ブートプロセスが完了してから、LED を再確認してください。

ブート中に、CMM の OK LED がオフになる (6474460)

CMM がシャーシに挿入されたり、シャーシ AC 電源が再投入されるたびに、CMM の前面パネルにある CMM OK LED が約 1 分間オンになった後にオフになります。

この問題は今後のリリースで解決される予定です。

ILOM サービスプロセッサ (SP) のロックアップが発生する (6471005)

まれに、ILOM サービスプロセッサがシリアル管理ポートに応答しなくなることがあります。この問題を回避するには、次のいずれかの方法でサービスプロセッサをリセット・再起動します。

- IPMItool で、BMC reset cold サブコマンドを使用します。
- ILOM CLI で、reset /SYS コマンドを使用します。
- ILOM GUI の「Maintenance (保守)」タブを使用します。

/CH/BLn/SP/cli/ ユーザーコマンドが、無効な値を受け入れる (6497752)

/CH/BLn/SP/cli/ ユーザーコマンドは、無効な値を受け入れます。この問題は、今後のリリースで解決される予定です。

対処方法

ユーザーのプロパティのフィールドに有効なユーザ名を入力します。

CMM ギガビット Ethernet ポートを 2 つ接続すると、ネットワーク速度が低下する (6498417)

両方の CMM ギガビット Ethernet ポートを同じネットワークスイッチに接続すると、ネットワークが低速になる可能性があります。

対処方法

この問題を回避するには、1つのポートを接続し、1つのポートのみが有効になるように静的スイッチ設定を変更します。

ブレードの 12V の表示が現在の測定値でない (6515649)

電源が接続され動作しているときに、PSU の両側の 12V の値が 0 A と表示されます。

対処方法

PSU をオンにした後に、ブレードが起動するまで約 2 分間待つ必要があります。
/SYS が開始され、OS のブートが始まると、ブレードの電圧調整器に現在の測定値が表示されます。

ILOM CMM SP が、現在の状態を表示しない (6516108)

ILOM CMM サービスプロセッサが、電源やファンの現在の状態を報告しません。
PSU のファンを取り外しても、CLI や IPMItool にその変更が表示されません。
ファンまたは電源の状態を判断するには、次のオブジェクトを確認します。

- /CH/PSN/V*
- /CH/PS0/V+12V_MAIN
- /CH/PSN/FAN_FAIL

BMC が応答しなくなり、CPLD のバージョンが 0.0 と表示される (6517737)

BMC の応答が断続的に停止し、CPLD のバージョンが 0.0 と表示されることがあります。この問題が発生した場合は、次の手順を実行します。

対処方法

- サービスプロセッサをリセットします。
- ILOM フラッシュアップグレードを再試行します。
- サーバーの電源を入れます。

CMM NET MGT 1 ポート 1 が無効 (6521145)

CMM の Ethernet ポート (NET MGT 1 ポート) は、デフォルトで無効になっています。NET MGT 1 ポートは無効な状態で出荷されます。これは、ネットワーク設定が保証されていないため、このポートを使うと、正しく設定されていないネットワークのパフォーマンスが低下する恐れがあります。

今後のソフトウェアアップグレードで、いずれかのポートに接続できるようになる予定です。一定のネットワーク機能が保証できれば、両方のポートが利用できるようになる可能性もあります。

この問題は今後のリリースで解決される予定です。

ファンのしきい値が、CMM およびブレードで確認できない (6513836)

ILOM サービスプロセッサは、使用・制御していないしきい値情報を報告しません。そのため、ファンや電源のしきい値は、CMM やブレードではわかりません。

この問題は今後のリリースで解決される予定です。

ファンを取り外すと、CMM SEL に発動とアサート停止のイベントが記録される (6514930)

ファンを取り外したり取り付けたりすると、発動とアサート停止の両方のイベントが IPMI SEL ログに記録されます。次の例で、ファンの取り外し・取り付け時に記録される発動とアサート停止のイベントメッセージを示します。

ファンの取り外し後

```
100 | 01/18/2007 | 23:53:17 | Fan fm0.fail | Predictive Failure  
Deasserted  
200 | 01/18/2007 | 23:53:17 | Fan fm0.fail | Predictive Failure  
Asserted
```

ファンの取り付け後

```
100 | 01/18/2007 | 23:53:17 | Fan fm0.fail | Predictive Failure  
Deasserted  
200 | 01/18/2007 | 23:53:17 | Fan fm0.fail | Predictive Failure  
Asserted  
300 | 01/18/2007 | 23:54:12 | Fan fm0.fail | Predictive Failure  
Deasserted
```

これらのメッセージは無視してかまいません。

電源コードのプラグが取り外されているとき、PSU I+12V センサーの値が、0 ではなく 2.5 A と表示される (6516034)

PS0 の電源コードを取り外すと、S1 側の CMM I+12V センサーの値が、2.5 A と表示されます。S0 側では、正しく 0 A と表示されます。

対処方法

これらの表示値は無視してかまいません。

Startcli が、LDAP ユーザーと RADIUS ユーザーを認証しない (6526825)

LDAP または RADIUS のユーザーが、認証を試みても、認証されません。

対処方法

LDAP ユーザーと RADIUS ユーザーを認証するには、目的のユーザーとして接続し、ルートログインを使用した後、リモート接続を許可するように CLI ユーザープロパティを設定します。

CMM が、ブレードの SP を変更または検出しない (6531753)

CMM で、ブレードの IP アドレスを変更または検出できない可能性があります。IP アドレスを変更するには、ブレードサービスプロセッサに接続し、ブレードのサービスプロセッサ ILOM インタフェースを使用して IP アドレスを更新して表示します。

ブレード ILOM にアクセスする方法はいくつかあります。以下の回避策のいずれかを使用してください。

対処方法

- ブレードサーバから、IPMI KCS インタフェースを使用します。
- ネットワークホストから、IPMI プロトコルと管理ネットワークを使用します。
- ILOM CLI から、`ssh` と管理ネットワークを使用します。
- CMM ILOM CLI で、次の `start` コマンドを使用します。

```
start /CH/BLN/SP/cli
```

SP で 1 つの CLI セッションしか開始できない (6540550)

ILOM CMM サービスプロセッサで、/CH/BLN/SP/cli オブジェクト経由で同時に 1 つのリモート ILOM CLI セッションしか開始できません。1 つの CLI セッションがすでにアクティブな場合に、2 番目の CLI セッションを開始すると、エラーメッセージが表示される可能性があります。

対処方法

この問題を回避するには、リモートシステムから `ssh` を使用してリモート ILOM で追加のセッションを開始するか、次のコマンドを使用して現在のセッションを終了します。

```
stop /CH/BLN/SP/cli
```

電源がオフのときに、シャーシに電源オンと表示される (6531040)

電源がオフであるにもかかわらず、シャーシに電源オンと表示されます。

対処方法

CMM をリセットしてから、もう一度試みます。

PSU が取り外されたときに、異なるステータスの値が報告される (6530748)

電源ユニット (PSU) をシャーシから取り外したときに、/CH/PSN ILOM CM CLI オブジェクトに異なる PSU ステータスの値が報告される可能性があります。

対処方法

電源ユニットを取り外したときに、異なる PSU のステータス値を受け取った場合、/CH/PSN ILOM CM CLI オブジェクトに表示される情報は無視してかまいません。

ドキュメントの注意事項

ここでは、ドキュメントに関する注意事項を説明します。

一部のドキュメントで電源モジュールの定格値に誤りがある

Sun Blade 6000 モジュラーシステムの一部のドキュメントで、電源モジュールの定格値が 6000 W と記載されていますが、正しくは 5600 W です。

